



解説講座

衣笠の画家と学校



加藤英舟「秋乃背戸」衣笠小学校蔵



宇田萩邨「山桜図」大將軍小学校蔵



昭和初期の衣笠校周辺

日時: 2014年 **11月30日** (日)

午後2時~3時30分 (※30分前から受付開始)

講師: 森 光彦 (当館学芸員)

会場: 京都市学校歴史博物館 3階 講義室

定員: 60名 (申込先着順)

参加費: 無料 (要当日観覧券 200円)

お申込み先

■電話 **075-344-1305** (午前9時~午後5時 ※水曜休館)

■FAX 075-344-1327

■はがき 下記住所まで

■電子メール rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp

※イベント名, 代表者氏名, 電話番号, 参加人数を明記。

定員に達ししだい受付終了。(FAX・電子メールの受付確認は行っておりませんのでご了承ください。)

申込期間: **9月15日(月)~11月29日(土)**

※警報発令時の休講について: 下記の警報発令の場合, 休講とさせていただきます。休講の連絡はいたしませんので, 各自で気象情報に注意しご判断ください(警報発令時でも, 展示室は開館時間中ご覧いただけます)。

- ・「暴風警報」→ 講座開始時刻の2時間前の時点で, 暴風警報が京都市に発令されている場合, 休講。
- ・「特別警報」→ 発令時刻・警報の種類に関わらず, 即時に休講。

大正から昭和初めにかけて, 衣笠には多くの画家が移住しました。

小野竹喬, 菊池契月やその弟子たちなど, そうそうたる顔ぶれです。

画家たちは衣笠の豊かな自然を求めて, 花木や鳥獣を写生しながら作品制作を行っていたのです。「絵描き村」の活気を表すように, 衣笠の学校には画家からの寄贈作品が多く残ります。

本講座では, 衣笠の学校ゆかりの日本画を紹介します。また, 画家と学校とのつながりがわかるエピソードなどもあわせてお話しします。



「絵描き村と学校
—衣笠に伝わる名画—」

開催期間 2014年
10月3日(金)~12月16日(火)



京都市学校歴史博物館

〒600-8044
京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437
TEL: 075-344-1305 ※水曜日休館
<http://kyo-gakurehaku.jp>

交通アクセス

- ◆ 阪急「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
 - ◆ 地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
 - ◆ 京阪「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
 - ◆ 市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
 - ◆ 市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ
- ※駐車場はございません。
※正面入口, 御幸町通からお入りください。

